

栃木県生活協同組合連合会 2023年10月度の活動報告

<p>◇機関会議等 10日(火)第3回定例理事会 20日(金)理事長専務会議 23日(月)第2回地域生協部会</p> <p>◇行政関連 1日(日)第18回うつのみや食育フェア 3日(火)栃木県カーボンニュートラル推進会議 17日(火)とちぎグリーン農業推進協議会 とちぎ地産地消県民運動実行委員会幹事会 31日(火)宇都宮市消費生活講演会</p> <p>◇ネットワーク関連 2日(月)とちぎ消費者カレッジ (宇都宮中央女子高校/宇都宮中央高校) 3日(火)とちぎ消費者カレッジ(小山北桜高校) 4日(水)とちぎ消費者カレッジ(佐野東高校) 5日(木)とちぎ食の安全ネットワーク世話人会 18日(水)とちぎ消費者カレッジ(作新大学)</p>	<p>◇防災</p> <p>◇その他 14日(土)こどもSANSANプロジェクト月例会 17日(火)ユニバーサル就労ネットワーク会議 NPOとちぎ消費生活ネット20周年誌編集会議 19日(木)協同組合交流会 労働者福祉協議会幹事会 27日(金)日生協 関東甲信越行政生協関係者連絡会 28日(土)生協総研 第32回全国研究集会 「世界的な食料危機の中で～」 29日(日)ふれあいコープ仕事研究会事例発表会</p> <p><適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リンクの活動> 17日(火)適格消費者団体とちぎ消費者リンク事務局会議</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	---

県連活動

1. 機関会議等

● **10月10日(火) 第3回定例理事会**

【議決事項】 第1号議案 2024年度会費決定の件

【協議事項】 (1)下期活動の実施について

- ① 理事長専務会議 (2023/10/23)
- ② 賀詞交歓会の実施について (2024/01/09)
- ③ 報道代表者との懇談会について (2月～3月)

【報告事項】 (1)「県連活動定例報告」

- ① 地域生協部会報告「地域生協と大学生協の共済活動交流会」報告
- ② 暮らし部会報告(部会長から口頭補足)
- ③ 月次決算報告(8月度)(9月度)
- (2) 日本生活協同組合連合会中央地連報告
- (3) 会員報告
- (4) 「ユニセフ ハンドイン ハンド募金」の取り組みについて(口頭案内報告)
- (5) 県連HP用「会員事業品目」点検願ひ

次回日程 12月12日(火) 13:30～16:00 宇都宮市文化会館

● **10月23日(月) 第2回地域生協部会**

<参加会員…とちぎコープ、よつ葉生協、パルシステム茨城 栃木、生活クラブ、こくみん共済coop、
パルシステム群馬(ZOOM参加)>

各会員生協の上期宅配事業のまとめと下期の重点課題について報告、討議を行いました。その他、こくみん共済coopより、共済の実務担当責任者・実務担当者の情報交換を目的とした、「栃木県生協連 地域生協共済推進情報交換会」発足の提案がありました。

● **10月20日(金) 理事長専務会議学習会<8会員、32名参加>**

<参加会員…とちぎコープ、よつ葉生協、パルスシステム茨城 栃木、栃木県学校生協、栃木保健医療生協、こらぼワーク、パルスシステム群馬>

■演題：「協同らしさ」について考える～協同組合のアイデンティティに関するICA声明～

■講師：(一社)日本協同組合連携機構 常務理事 伊藤 治郎 氏

■内容：2年ぶりの開催となった理事長専務会議は、対面式での開催となりました。



国際協同組合同盟(ICA)では「協同組合のアイデンティティ」について見直し検討をしていることから、日本協同組合連携機構(JCA)の伊藤常務理事を講師に招き、理事長専務に限らず、組合員理事や幹部も含めた参加での学習会に変更して開催しました。協同組合のアイデンティティをテーマに海外や日本の生協の歴史のお話から1995年に発表された「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」の定義や価値・原則の解説、協同組合原則の変遷やその背景についてのお話をいただきました。生活環境の変化や社会問題などを基に、地球環境、平和・非暴力、多様性、包摂性、職員の位置づけ、組合員の経済的参加などについてが今後の論点と挙げられていました。

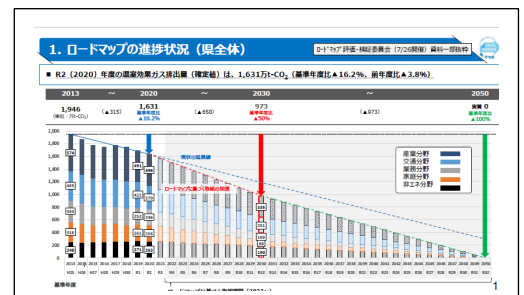
2. 行政関連

● **10月 3日(火)栃木県カーボンニュートラル推進会議(栃木県)**

《議事》

- (1) カーボンニュートラル実現に向けたこれまでの県の取組について
- (2) ロードマップの進捗状況について
- (3) 今後の方向性について

県全体のロードマップ進捗状況



温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル(CN)の2050年実現を目指した「とちぎCN実現会議」が栃木県公館で開催されました。参加は経済団体や交通、電気、ガス業界などを代表する委員約20名が参加しました。

県が策定したCN実現に関するロードマップの進捗状況を共有し、現状のペースでは2030年の中間目標に間に合わないこと、家庭と交通分野の対策を強化する必要性についてなどの話し合いを行いました。

● **10月17日(火)とちぎグリーン農業推進委員会(栃木県)**

国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、栃木県では2022年に「とちぎグリーン農業推進協議会」を設置、化学肥料や農薬を減らし、環境負荷を低減することを目的とした農法の確立、持続可能な農業を目指すため、生産者と行政、流通業者、消費者が連携し、2023年から2027年の5ヶ年計画として「とちぎグリーン農業推進方針」の作成をしています。



今回、推進計画と2023年度の進捗状況について説明があり、参加している行政(小山市、市貝町)や団体(JA)から取り組みについての報告がありました。

● **10月17日(火)とちぎ地産地消県民運動実行委員会幹事会(栃木県)**

とちぎ地産地消夢大賞受賞者の選考について、各幹事会メンバーの選出による審査結果方法の説明と、結果報告がありました。各受賞者の表彰式の日程と場所の確認の後、令和5年度地産地消の普及啓発について、パンフレット作成と路線バス(関東自動車)への広告掲載についての説明がありました。その他、「すごいぞとちぎの農業」地産地消学校給食事業の実施状況についてや各団体からの、食に関わるキャンペーン等の報告がありました。

● **10月31日(火)消費生活講演会(宇都宮市)**

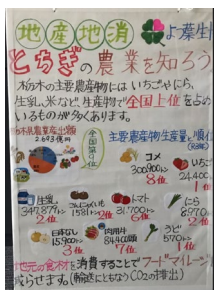
宇都宮共和大学教授の高丸圭一先生を講師に、「これからのデジタル社会の進展と消費者の暮らしについて考える～進化を続ける人口知能(AI)と共存するために～」をテーマにした講演会が開催されました。人工知能(AI)とはどのような技術なのか、流行りの生成AIについてなど、人工知能の歴史から、現在のAI(ディープラーニング型)への考え方の変化や、メリットデメリット、事例などを挙げ、分かりやすくご説明をしていただきました。

● **10月1日(日)第18回うつのみや食育フェア(宇都宮市)**

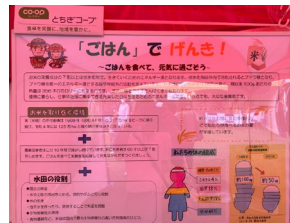
時折小雨の降る、あいにくの空模様となりましたが、昨年同様、開場から大勢の方が訪れ、時間を15分早めての開始となりました。開始から人の波が途切れることは無く、450名分用意した食育クイズとお菓子もお昼を待たずに終了となりました。午後はパネル展示を行い、生協の取り組みについて紹介を行いました。



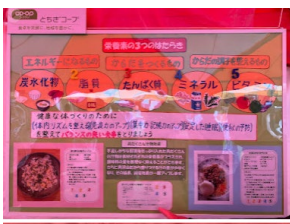
《各生協の展示テーマ》	
それぞれのテーマに基づき、取り組みのパネル展示とクイズを実施(クイズ450名分)	
よつ葉生協	地産地消 とちぎの農業を知ろう 主食のお米をとりもどそう
とちぎコープ生協	「ごはん」でげんき! 栄養素3つのはたらき
パルシステム 茨城 栃木	お米を食べよう
生活クラブ生協	健康のために 牛乳をのもう!



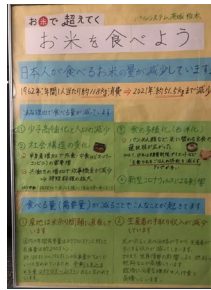
よつ葉生協



とちぎコープ



パルシステム
茨城栃木



生活クラブ生協

3. その他

- **10月17日(火)第35回NP0法人ユニバーサル就労ネットワーク栃木定例会議**

[複数の企業・事業所とネットワークを作り、多くの「働きづらさを抱える人」の伴走支援をし、両者を適切に「つなぐ」中間支援組織]

ハローワーク就労支援、ダイバーシティ取り組み団体の事例、ユニバーサル就労受入れ団体への作業見学の進捗報告、行政と就労移行支援事業所との連携、フードバンク利用者の相談支援状況等についての報告がありました。課題の共有や今後のすすめ方について話し合われました。

- **10月19日(木)令和5年度 協同組合意見交換会**

[栃木県内の協同組合が参加する連携組織「協同組合連絡会」]

<参加会員…栃木県森林組合連合会、栃木県漁業協同組合連合会、栃木県労働福祉協議会、中央労働金庫栃木支部、農林中央金庫宇都宮支店、よつ葉生活協同組合、生活協同組合パルシステム茨城 栃木、栃木保健医療生活協同組合とちぎコープ生活協同組合、企業組合とちぎ労働福祉事業団、全国農業協同組合連合会栃木県本部、全国共済農業同組合連合会栃木県本部



講師 中野謙作氏

■経過：2021年日本協同組合連携機構(JCA)から県域における協同組合間の連携を強化するべく「協同組合ラウンドテーブル」が起案されました。そこで栃木県の協同組合連絡会では協同組合が連携してできることを話し合うため、栃木県の状況について学ぶことから始めました。昨年は、栃木県における子どもの貧困を学び、今年は引きこもりについて学ぶ機会としました。

■地域社会を取り巻く諸情勢に関する学習会

- テーマ:「困難を抱える子ども若者・ひきこもり支援の現状と課題」

～働きたくても働けない人が増えるのはなぜ?～

- 講師:一般社団法人栃木県若年者支援機構 中野謙作氏

昨年の「子どもの貧困」学習に続き、今年は、栃木における現代の若者を取り巻く環境や、不登校・ひきこもりとなってしまう現状などについて学習しました。学習後は4グループに分かれ、グループワークを実施、各グループの発表を行い交流しました。



- **10月27日(金) 日生協 関東甲信越行政生協関係者連絡会**

[関東甲信越の行政担当者及び県生協連関係者が集い、各県の連携した活動報告と今後連携できることを交流する連絡会]

■消費者庁 講演

「食品ロス削減について～持続可能な社会へ向けて、消費者・生協に期待すること～」

■日本生協連報告 「持続可能な社会の実現を目指した 全国の生協の社会的取り組み」

■学習講演 「消費者教育の現状と課題について」

■分散会 「生協と行政で連携してできること」

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 10月5日(木) とちぎ食の安全ネットワーク第4回世話人会 <参加者12名>
 1. 世話人学習会「登録農薬の再評価：考え方と現状」
講師：宇都宮大学名誉教授 宇田靖氏
 2. 令和4年度「食の安全・安心・信頼性の確保に向けた施策に関する報告書」の実績報告
報告者：栃木県生活衛生課 桑原寛子氏
 3. 9月25日（月）開催 食の安全ネットワーク第2回学習会アンケート結果報告
 4. 11月27日（月）開催「とちぎ食品安全セミナー」について
 5. 各団体からの報告、その他

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 10月度 とちぎ消費者カレッジ開催報告

開催日	開催校	演題	講師	人数
10月2日	栃木県立宇都宮中央 女子高等学校 栃木県立宇都宮中央 高等学校	賢い消費者になろう！ ～契約と契約トラブル～	とちぎ消費生活アドバイザー 連絡協議会 会長 伊藤延子氏	39名
10月3日	栃木県立小山北桜 高等学校	消費者トラブルを回避するために	皐月法律事務所 弁護士 荘司円香氏	139名
10月4日	栃木県立佐野東 高等学校	社会への扉 ～契約とはなんだろう お金と生活の安全を守るにはどうす ればよいのだろうか？～	阿部法律事務所 弁護士 阿部健一氏	183名
10月18日	作新学院大学	「インターネット時代を拓く若者の 玉手箱」～大学生が巻き込まれがちな ネットトラブル～	とちぎ消費者ネットワーク 代表 山田英郎氏	18名
10月24日	足利大学看護学部	消費者問題のイロハを学ぼう ～大学1年生に知っておいて欲しい こと～	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉崇徳氏	71名

栃木県生協連 2023年11月度、12月度の活動予定

2023年11月度予定	
1日(水)	消費者カレッジ(栃木県立日光明峰高等学校)
2日(木)	消費者カレッジ(作新学院大学 経営学部 スポーツマネジメント学科/経営学科)
6日(月)	第3回くらし部会
7日(火)	第4回とちぎ消費者ネットワーク幹事会学習会「ステルスマーケティング規制って何？」
8日(水)	消費者カレッジ(作新学院高等学校)
9日(木)	消費者カレッジ(作新学院大学女子短期大学)
14日(火)	茨城県ユニセフ視察訪問
16日(木)	新潟県生活協同組合連合会 60周年記念式典
17日(金)	(JCA)都道府県協同組合連絡組織 全国交流会議
21日(火)	第5回常務理事会 日本生協連「中央地連運営委員会・県連推進会議」
22日(水)	消費者カレッジ(國學院大學栃木高等学校)
27日(月)	とちぎ食品安全セミナー
2023年12月度予定	
6日(水)	消費者カレッジ(國學院大學栃木短期大学)
7日(木)	第5回とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
12日(火)	第4回定例理事会
13日(水)	消費者カレッジ(栃木県立益子芳星高等学校)
14日(木)	消費者カレッジ(栃木県農業大学校)
15日(金)	日生協大規模災害対策協議会

栃木県生活協同組合連合会